

高体連テニス部 注意事項（岐阜県総体）【訂正版】

1. 団体戦について

- ・試合はダブルス・シングルス1・シングルス2の3試合をこの順に行い（2つ以上の試合を同時に行うこともある）、原則として2回戦までは3試合すべてを行う。
- ・選手登録は4～5名で、同一対抗でダブルスとシングルスの両方に出場することはできない。
- ・シングルスは、登録順位上位の者がシングルス1となる。
- ・各試合とも1セットマッチ（6-6後タイブレイクゲーム）とするが、準決勝・決勝・フィードインコンソレーション（同地区同士でも実施）は8ゲームプロセットマッチとする。
- ・登録監督または登録選手に限って、1コートに1名のみベンチコーチに入れることができる。
- ・選手は、エンド交代時の90秒以内のみ、ベンチコーチのアドバイスを受けることができる。
- ・原則として1試合にボールを1缶使用するが、ハードコート上で8ゲームプロセットマッチを実施する場合のみ、9ゲーム終了後、ボールチェンジを行う。

2. 個人戦について

- ・各試合とも1セットマッチ（6-6後タイブレイクゲーム）とするが、全国総体出場に直接関わる試合以降は8ゲームプロセットマッチとする。（男女シングルス及び男子ダブルスでは、準決勝・決勝・フィードインコンソレーションが、女子ダブルスでは決勝が8ゲームプロセットマッチとなる。）
- ・個人戦ではセットブレイク方式を採用するので、第1ゲーム終了後は休憩を認めない。
- ・順位決定戦（男女シングルス5～8位、**女子**ダブルス3位）を1セットマッチ（6-6後タイブレイクゲーム）で行う。なお、同地区・同校同士でも順位決定戦を行う。
- ・原則として1試合にボールを1缶使用するが、ハードコート上で8ゲームプロセットマッチを実施する場合のみ、9ゲーム終了後、ボールチェンジを行う。

3. 審判について

- ・団体戦、個人戦ともにソロチェアアンパイア（SCU）とする。団体戦において、ドロー番号の小さい学校がダブルス・シングルス2の審判を出し、ドロー番号の大きい学校がシングルス1の審判を出す。個人戦はドロー番号の小さい学校から審判を出す。学校の事情で審判を出せないときは「補助員に関する申し合わせ」に従って対応すること。
- ・試合が終了したら審判は直ちにコートレフェリーのサインをもらい、本部に結果を報告する。

4. その他

- ・各試合とも、ウォーミングアップは3分以内とする。
- ・試合進行はオーダーオブプレイで行うので、本部前のホワイトボードで確認すること。
- ・試合当日は、雨天でも受付開始時間までに会場に集合すること。
- ・大会日程
8：30～ 【団体戦】監督会議 【個人戦】顧問連絡会
コートレフェリー打合せ（引率顧問）
8：30～ 審判説明会（補助員を務める各校代表者男女それぞれ1名）
8：30～ 選手受付
8：45～ 開会式（競技初日） 諸注意
9：00～ 競技開始（競技初日は9：10～）
- ・試合時の服装は、「日本テニス協会ルールブック2024」の服装規定による。
- ・他のことは日本テニス協会競技規則に従う。また、コートレフェリーの指示に従わない場合は失格とする。
- ・ボールパーソンはつけない。
- ・試合を静止画・動画で撮影される場合には、相手校監督ないし、相手の選手の保護者の許可を予め得ること。
- ・この大会によって得られる上位大会の出場数は、下表の通り。

	団体	個人シングルス	個人ダブルス
全国総体	男女各1校	男女各3名	男子2組、女子1組
東海総体	男女各2校	男女各6名	男女各3組